



# らぶびー南郷 2017

## 6年生を送る会 「ありがとう」の気持ちを伝えました。

3日(金)の2校時に「6年生を送る会」が行われました。

各学年ごとに、もうすぐ卒業する6年生に感謝の気持ちを伝えようと一生懸命練習してきました。それぞれの出し物に贈る言葉を添えて、6年生へのはなむけ

を行いました。また、6年生は星野源の「恋」に合わせたダンスをしました。最後は1～5年生にも『一緒に踊りましょう』と声をかけ、みんなで6年生と楽しむ機会となりました。

1年生	「ありがとうさよなら」の歌と替え歌
2年生	シェアハッピーダンス
3年生	「パフ」のリコーダー奏と替え歌
4年生	合奏「ありがとう」
5年生	「君に幸あれ」の替え歌



6年生が1年生と手をつないで入場



全校児童で「恋ダンス」



児童会旗の引継ぎ

## 恒例の「ミニミニコンサート」が開催

1日(水)・2日(木)の昼休みに恒例となっている「ミニミニコンサート」が体育館で行われました。

各クラスや学年の有志が出場し、歌や合奏、ダンスなど様々な出し物がありました。また、マーチングバンドからの出場もあり大盛況でした。入賞などの賞はありませんでしたが、音楽好きな子ども達がたくさん集まりました。出場する子ども達も多かったのですが、聞きに来る子ども達も多く、みんなの頑張りを認め、たたえ合う南郷小の子ども達の姿が見られ、嬉しく感じるひとときでした。



## 5年生が「げんきどーむ」に行ってきました



2月21日(火)に5年生がなんごう幼稚園に行って、園児とのふれあい体験をしてきました。『総合的な学習の時間』を使って、小さな園児と一緒に楽しむことができることや園児に楽しんでもらうためには、という課題をもって事前から計画と準備を進めました。当日はグループに分かれて「紙芝居」「鬼ごっこ」「トランプ」「風船バレーボール」などを園児達と一緒に行いました。また、園児からお礼のメダルをいただきました。充実したふれあい体験となり、南小っ子の良さを感じる行事となりました。

## めざせ! 家庭学習□時間以上!! 睡眠時間8時間

2月27日～3月3日にかけて実施した今年度最後の家庭学習時間及びノーテレビ・ノーゲームの日に関する調査の結果をお知らせします。

家庭学習に対する取組状況は、右の通りでした。6年生は卒業に向けて学習以外の活動が増えたために家庭での学習時間が減少しているようです。引き続き、どの学年においても達成者の割合が7割以上になるよう励ましていきます。

また、ノーテレビ・ノーゲームの日については、学年による差が見られません。個別の声をしていきますので、ご家庭のご協力とご理解をお願いします。

朝食の摂取率や睡眠時間については、各ご家庭のご協力をいただき、ほとんどの児童が十分な睡眠時間の確保と朝食摂取ができており、良好な結果となっています。ありがとうございます。

<学校以外での学習時間(塾での学習も含む)>

	達成者(前回比)	未達成者	平均時間
1年生(20分以上)	88.6% (+ 6.8)	11.4%	35.9分
2年生(20分以上)	86.1% (- 4.6)	13.9%	36.6分
3年生(30分以上)	82.5% (+ 9.1)	17.5%	45.0分
4年生(40分以上)	77.1% (+ 9.4)	22.9%	53.9分
5年生(50分以上)	71.1% (- 4.8)	28.9%	64.7分
6年生(60分以上)	65.7% (-23.4)	34.3%	71.3分

<ノーテレビ・ノーゲームの割合>

(1週間のうちにノーテレビ・ノーゲームの日を設定している)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
4月調査		46.7%	31.3%	19.0%	19.2%	33.3%
6月調査	52.0%	39.0%	34.0%	33.0%	22.0%	46.0%
9月調査	37.2%	31.8%	38.2%	25.7%	19.6%	37.8%
11月調査	43.2%	45.5%	28.6%	26.7%	20.7%	57.1%
1月調査	56.8%	40.0%	18.5%	23.5%	27.6%	75.7%
2月調査	31.4%	53.5%	20.0%	14.3%	36.8%	11.1%
2月平均	73.6分	60.6分	69.8分	102.5分	81.8分	103.6分

## 学校評議員会から=あたたかい励ましをいただきました=

3月2日(木)に今年度第2回目の学校評議員会が行われ、評議員の方々から以下のような言葉をいただきました。

- 「間違えてももう一度考え、失敗してもまたやり直す子供」「わからないときはわからないと言える学習集団づくり」は継続して教育活動を進めてほしい。学校の経営方針として5年ほど経過しているが、保護者の理解も根付いてきて、子ども達にも根付いてきている。
- 「間違えてももう一度考え、失敗してもまたやり直す子供」は大切な考え方だと感じている。失敗はいけないこと、間違いはダメなことという先入観が保護者の中にはあるのではないか。家庭でのしつけが間違っはいけないというしつけになってしまっているように感じる。子どもは間違いながら成長するものであり、子育てでは大切なことだと思う。また、「～してはいけない」という地域性があるのではないだろうか。学びと経験を生かして自己有用感を育てるという考え方は大切であり、『失敗することはいいことだ』という捉え方が大事である。
- 『失敗』→『恥ずかしい』→『チャレンジしない(冒険しない)』という傾向が昨今の若者に見られがちである。職場でもそうだが、このような現状だからこそ、周りの風土づくりが大事だと思う。周りが「許す」「認める」といった寛容性をもつことが大切だと実感している。
- 失敗することの肯定的な面を大事にして学校教育を進めてほしい。

今回いただいた評価(励まし)を今後の南郷小学校の教育活動に生かしていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

**明日、3月11日には「みやぎ鎮魂の日」です。**